

神奈川の宇宙関連産業の振興を考える有識者会議（第2回）

事務局説明資料

令和8年1月16日
神奈川県産業労働局



前回までのまとめ：

会議の設置目的

令和7年8月有識者会議
(第1回)資料(抄)

世界における宇宙産業の構造変革

- ・ 商業宇宙活動の加速
- ・ 宇宙ソリューション市場の拡大 など



国の「宇宙基本計画」の改訂や「宇宙戦略基金」の設置
国が設定した市場規模の拡大目標



神奈川県宇宙関連産業の振興に必要な施策の方向性等について
ご意見をいただく

前回までのまとめ：

第1回会議の議論（1）



令和7年8月21日 第1回有識者会議

神奈川の宇宙関連産業の振興を考える 有識者会議

- 【構 成 員】**
- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 赤塚 剛文 | マッハコーポレーション代表取締役社長 |
| 新井 元行 | Synspective代表取締役CEO |
| 荒木 慎介 | 三菱電機鎌倉製作所副所長 |
| 大坪 正人 | 由紀精密代表取締役 |
| 北澤 幸人 | 元神奈川県参与／学習院大学理学部客員研究員 |
| 倉原 直美 | インフォステラ共同創業者・代表取締役CEO |
| 白坂 成功 | 慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科教授 |
| 中須賀真一 | 東京大学大学院工学系研究科教授 |
| 野口 聡一 | 宇宙飛行士 |
| 野中 朋美 | 早稲田大学経営システム工学科教授 |
| 橋詰 卓実 | 三菱UFJ銀行宇宙イノベーション室長 |
| 藤本 正樹 | 宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所長 |
| 山口 耕司 | オービタルエンジニアリング取締役社長 |
| 米津 雅史 | クロスユー事務局長 |

（50音順・敬称略）

- 【開催実績】 令和7年8月21日（第1回）**
（主な議題）
- ・神奈川の「強み」「勝ち筋」
 - ・施策の「優先順位」「メリハリ」
 - ・宇宙が持つ「夢を与える題材」としての側面

前回までのまとめ：

第1回会議の議論（2） - ご意見のポイント

（神奈川の「強み」「勝ち筋」）

- ◆（神奈川の「強み」「勝ち筋」は）明らかに衛星。
- ◆衛星を製造する者に「ここですべて揃う」と言えばわかり易い。新しいビジネスも呼び込める。
- ◆東京から約1時間の距離、産業集積・地域性があり、産学官すべてが揃う。これらを活かさない手はない。

（産業の現場：①交流拠点）

- ◆特に米国、特に小型衛星は「垂直統合」が進む。対抗が難しい日本は「水平分業」に進む。協力関係の作り込み・ネットワークが大切。
- ◆試験設備の少なさがボトルネック。企業が共同で試験設備を利用・試作品を製造できる場があれば魅力的・効率的・有意義。
- ◆「モノ」を扱うと物流が必要。「近いこと」「集積していること」は完成品メーカーとしてもありがたい。

（産業の現場：②衛星データ）

- ◆衛星は「製造すること」ではなく「ミッション」が目的。衛星データの活用・宇宙ソリューションは大切。
- ◆「この地域課題を解決しよう」となれば目標ができる。防災・減災・まちづくりで貢献したい。
- ◆現場でこそAIが効いてくる。AIを施策に取り入れることが大事。

前回までのまとめ：

第1回会議の議論（3） - ご意見のポイント

（産業の現場：③海外市場）

- ◆宇宙関連産業の規模は小さく、**自動車産業に代わるものにはならない。海外市場を狙う**ことは重要。
- ◆「部品・素材だけ」**バラバラでは売り込みにくい**。システムメーカーの関与の下「一緒に」売り込めるとよい。

（人材確保・育成）

- ◆**他の産業分野からの人材確保**が最大のポイント。
- ◆国の「**宇宙スキル標準**」（宇宙業界で求められるスキルを体系的に整理）の**活用が大切**。県のプログラムを組み合わせることで（人材確保・育成施策として）デファクト化すると思う。
- ◆学生・生徒から「缶サット」（飲料缶サイズの模擬衛星）の落下試験をしたいと聞く。「**缶サット**」による**人材育成**も考えられる。

（「夢を与える題材」としての宇宙・未来の宇宙生活）

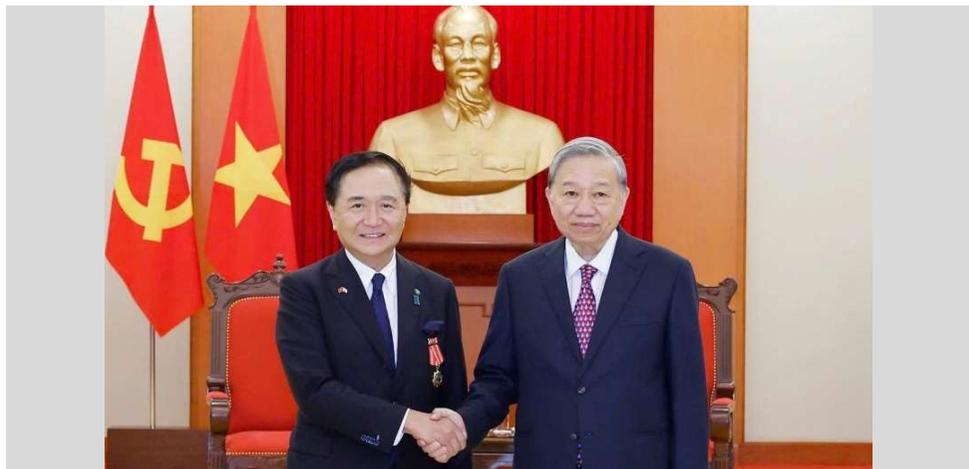
- ◆県が取り組むのは「産業として儲かる」からか。「**ある種の豊かさがもたらされる**」からか。後者も重要。
- ◆**かなりの長期スパン**だが、**民間人が宇宙に行く時代になれば**生活に必要なものはすべて宇宙でも必要。宇宙関連産業が大きくなるというより、**既存産業が宇宙にも出荷**するようになる。宇宙では「**未病**」も重要。

その後の動き：

(2) 海外プロモーション



令和7年11月12日 「神奈川投資セミナー」(ホーチミン)
(ベトナム企業などに神奈川のビジネス環境などをPR)



令和7年11月15日 トー・ラム・ベトナム共産党書記長との面会

「神奈川投資セミナー」 (ベトナム)

- ・ 神奈川県知事のベトナム訪問機会(令和7年11月11日～17日)を捉え、「神奈川投資セミナー」を開催(同月12日・ホーチミン)
- ・ ベトナム企業などに対して、神奈川県知事自らが、人工衛星関連企業が集積していることを含めて、神奈川のビジネス環境などをPR



(PRスライド(一部))



Kanagawa's poster boy

KOTETSU-Kun

A character in a Space ANIME

KEY TAKEAWAYS

Please keep in mind that

- ✓ **KANAGAWA** offers a rich ecosystem of global companies, startups, and SMEs with **outstanding satellite technology**.
- ✓ They are **eager to partner with you**.

その後の動き：

(3) 交流拠点「スペース・ヴィレッジ」



コワーキングスペース



ギャラリースペース
(一般向け展示空間)

宇宙関連企業交流拠点



KANAGAWA
Space Village

【開設】 令和7年12月23日

【所在】 相模原市緑区橋本3-28-1 **ミウヰ橋本** 2階

※ JR橋本駅徒歩2分・京王橋本駅徒歩4分

【営業】 月曜日～金曜日 9時00分～20時00分

※ 土曜日・日曜日・祝日・年末年始休業

【機能】 コワーキングスペース、ギャラリースペースなど

※ 別途、近隣にラボスペースも設置

【対象】 ・宇宙関連企業（参入を目指す企業など含む）

・大学・研究機関、金融機関、支援機関、自治体など

※ **無料（利用登録が必要）**

【取組】 ・コーディネーターによる相談対応

・宇宙関連産業の紹介セミナー

・利用者同士の交流イベント

・宇宙人材の確保・育成イベント

その後の動き：

(4) 宇宙サミット



宇宙サミットポスター

宇宙サミット

【日程】 令和8年2月5日（木曜日）10時00分～18時00分（予定）

【会場】 アニヴェルセル みなとみらい横浜（横浜市中区新港2-1-4）

【入場】 無料（事前の来場登録が必要）

※レセプション（後日別途ウェブサイトにて詳細を公開）除く

【主催】 神奈川宇宙サミット実行委員会

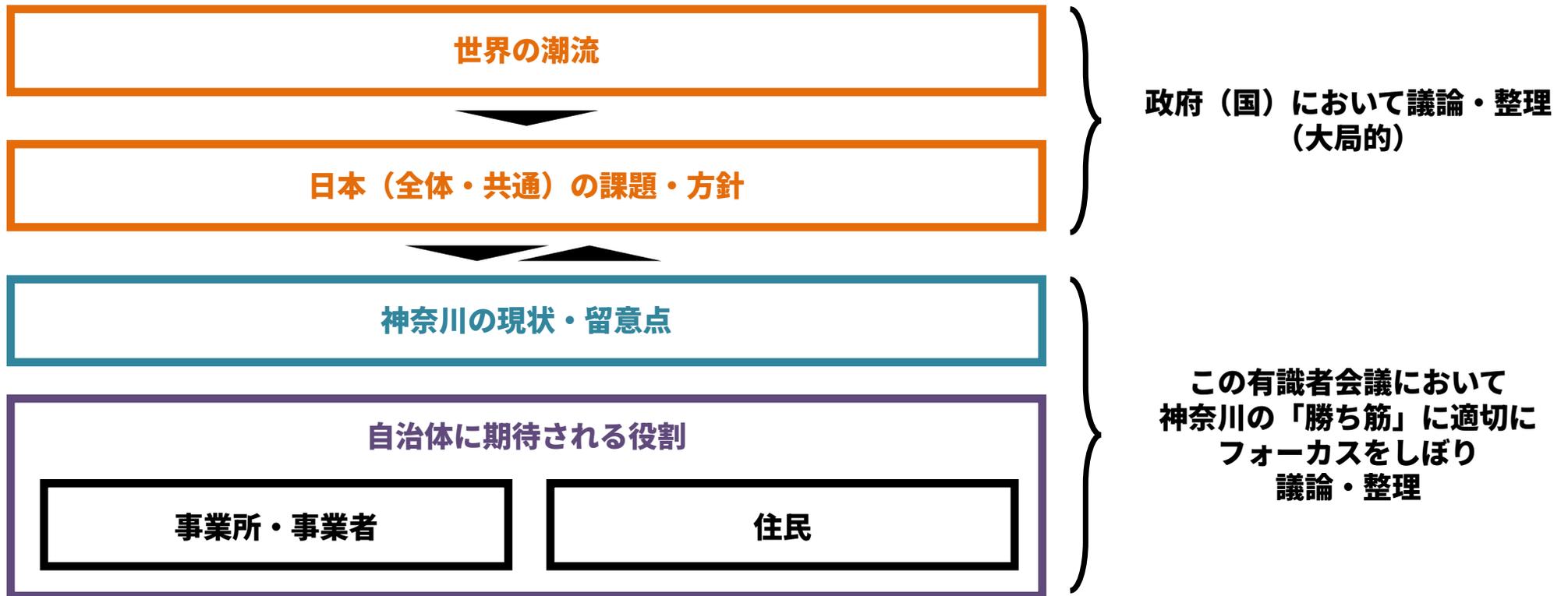
【プログラムの例】 ※予定・一部は仮称

- ①宇宙飛行士が語るリーダーシップとフォロワーシップ
- ②あなたの事業、宇宙で活かしませんか
～既存技術からはじまる、現実的な挑戦～
- ③宇宙ビジネスの新潮流 ～日本が宇宙ビジネスハブになるには～
- ④衛星を“アプリ”で進化させる時代へ
～オンボード処理の進歩とこれから～
- ⑤宇宙からのデータを活かして創るレジリエントな未来
- ⑥神奈川県で宇宙ビジネス創出の仕掛けをつくる
- ⑦宇宙スキル標準でつなぐ政策・教育・産業
- ⑧サステナビリティの答えは、宇宙にある ～ECLSS（エクルス）が描く水・空気・食・エネルギー・再生医療の未来～

今後に向けて：

神奈川の現状・留意点 | 自治体に期待される役割など

- ◆政府（国）は、数ある宇宙関連分野それぞれについて、世界の潮流を踏まえて、日本（全体・共通）の課題・方針を議論・整理。取組を進めている。
- ◆この有識者会議においては、神奈川の現状・留意点を踏まえながら、神奈川の「勝ち筋」に適切にフォーカスを絞り、自治体に期待される役割などを議論・整理していく。



今後に向けて：

[参考] 「政府（国）」と「民間」の連携・役割分担など

政府との連携、民間の中での連携

●政府と民間の連携・役割分担の在り方

- 政府が強い民間を後押し（サービス調達、アンカーテナンシなどで）
それで民間がさらに強くなる効果を狙う
(略)
- リスクを如何に下げて**民間が参入できるようにする**政府の施策（工夫）を検討すべき
 - ・ 多数で迅速な実証の機会が重要。軌道上実証がないと相手にしてもらえない
 - ・ シェアライドなど、「**しきい低く**」**試行錯誤ができる枠組み**を

●民間による世界での利用コミュニティづくり

- **技術だけ良くても使ってもらえない。利用コミュニティを作り、強い仲間づくり**を世界規模で目指す必要。
「セクショナリズム」が進む世界の中でどう仲間づくりをするか？
(略)
- そこに政府支援が必要な場合、民間が政府の動きを誘導することが重要

【東京大学大学院工学系研究科 中須賀真一教授「超小型衛星による新しい宇宙開発利用と宇宙ビジネスの潮流」（令和5年2月）より抜粋】